

ストラスブール大学に留学して

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科

ライフサイエンス専攻 野崎 絵美

私が訪れたストラスブールは、コロンバーシュと呼ばれる木骨造りの家が並ぶ伝統的な風景と、欧州評議会や欧州裁判所などが醸し出す近代的な風景が混在する、とても魅力的な街です。留学先のストラスブール大学は街の東側にあり、周辺に学生向けの寮やアパートが集まっているため、とても治安の良い過ごしやすいところでした。



寮の窓から見える景色

受け入れ研究室のボスである Poisbeau 先生をはじめ、研究室のメンバーも隣室の研究者たちもみなさん明るく親切で、フランス語に不慣れな私を笑顔と英語でたくさんサポートしてくれました。研究室は「これぞフランス！」といった雰囲気、朝はコーヒー片手に 30 分以上の雑談から始まり、ランチタイムは各自好きなタイミングで外出し、研究室へ戻ってきた人から順にコーヒーを入れてまた雑談、遅くとも 18 時には全員帰宅する、というのが日常の光景でした。日本では夜中まで研究室にいることも多かったのですが、その調子で夕方までデスクにかじりついていたら、Poisbeau 先生に「なぜこんな時間まで残っているんだい？せっかく天気の良いのだから散歩を楽しみなさい！」と研究室を追い出されてしまったことが今でも印象深いです。個人や家庭の時間を大切にすることが当たり前で、子どものサッカーの試合があるからと Poisbeau 先生自ら早退する姿も見られました。けれど、研究のスピードは皆さんとても早く、週に一度のミーティングでは毎回全員が新しい実験データを持っていて熱い議論が交わされました。



友人宅で餃子フェット

研究室を一步外へ出ると、英語が通じない、または英語では対応してもらえないことが多く、留学してすぐの頃は「Je sais pas !」と言われて追いやられてしまい困惑する毎日でした。けれど、なんとかコミュニケーションをとらなければと腹をくくり、あらかじめ調べた単語のメモを片手に必死でフランス語を話していると、目の前にいる係員だけでなく通りすがりの人まで一緒にメモを見ながら私の言葉に耳を傾けてくれ、私の希望していることを理解しようと力を貸してくれました。少しずつメモなしでも会話できるようになってきた頃、顔なじみの寮の事務員さんが「フランス語が上手になったわね。あなたの言っていることはきちんとわかりますよ」と言ってくださり、涙が出るほど嬉しかったです。

そんな悪戦苦闘する毎日を支えてくれたのが、日本からの交換留学生やストラスブール大学日本語学科の学生たちでした。フェットと呼ばれるパーティーやタンデムという勉強会を頻繁に開催し、時には一緒に日帰り旅行をして、たくさんの仲間と楽しい時間を過ごしました。また、ストラスブールで弓道や剣道などの武道を練習している現地の方々のコミュニティと交流する機会にも恵まれ、練習を見学させてもらうことができました。彼らのクリスマ



長唄三味線を一緒に演奏

パーティーでは日本から持参していた長唄三味線を披露し、黒田節をご存知だった剣道家のムッシュウたちと一緒に歌うという貴重な経験をしました。



カフェの陽気なマスター

少しずつフランス語に慣れてくると、ストラスブールの住人の一員として街を歩く気分になり、土曜の朝に開かれる近所のマルシェを散歩したり、おいしいガトーを求めて街中のパティスリーを探索したり、ストラスブールでの生活を大いに楽しみました。焼き立てバゲットに魅了され毎日によく通った近所のブラスリーなど、顔なじみの店ができるたびに、ますますストラスブールの街や人々が好きになりました。

ストラスブールが属するフランス北東部のアルザス地方はワインの名産地としても有名で、週末に近隣の町や村を訪れ、一面に広がるぶどう畑を何時間も散歩するという贅沢を味わいました。小さな村では東洋人がとても珍しいようで、あちこちで声をかけられ、親切な村の方たちに村の名所や名物、その土地の伝説などを教えていただきました。

実験機器の不調のため研究において成果を出せずに留学を終えることになってしまい、その点だけがとても悔しいです。けれど、研究や実験についてだけでなく、オンとオフの切り替え、仕事とプライベートの両立、何事も楽しみながら過ごすメンタリティを学べたことが、この留学での大きな実りであると感じています。

最後に、湯浅年子記念特別研究員並びにフランス政府給費留学生として留学する機会を与えて下さった、お茶の水女子大学・日仏理工科会・在日フランス大使館・ストラスブール大学の関係者の方々に、この場を借りて深く感謝申し上げます。また、留学前から何度も励まし支えてくれた家族と友人たち、家族のように温かく迎えてくれた Saker 夫妻と Adam&Sami、たくさんの素敵な思い出をくれた留学仲間たちに心から感謝致します。ありがとうございました。



朝日にきらめくぶどう畑